

### 水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	H30, R1, R2 年度	事業者名	WEF 技術開発株式会社
補助事業名	開発した水草活性酸素処理量産システムの事業化準備と製造した堆肥の農家での栽培実証		
補助事業結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、年間 2000 トン程度の水草を堆肥化する事業化を検討している。大規模になると製造コストが大きな負担となるので、今回低コスト化を検討した。製造方法、材料を再検討して、製造時間で 30 分短縮、材料費を当初の 2 割カット（費用）することが出来た。</li> <li>・ 活性酸素処理 1 時間→排出→切返し 5～10 日で完熟堆肥化</li> <li>・ 排出から完熟まで、95%の水分を 20%以下にするのに、全くエネルギーを使用しない（特許申請済）</li> <li>・ 農家は 6 軒で肥料確認をして頂いた。どれも作物が非常に大きくなるのを確認、収量が UP した。化学肥料は全く使用していない。</li> <li>・ 花類はでは、ペゴニアが対象物と比較して、2 倍近く大きくなったのと、枯れるのが 1 か月近く遅かった。</li> </ul>		
本年度（令和 3 年度）の状況 ・ 技術開発等の状況を含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本ではそれほど問題になっていないが、世界ではホテイアオイの繁殖が、環境、経済、生活面で大きな問題になっており、熱帯では 20 日で繁殖することから、駆除方法を各国・大学・企業が研究しているが、含水率 90%を乾燥させるエネルギー使用が問題で、未だに解決されていない。</li> <li>・ 当社のエネルギーを使用せずに乾燥する方法を利用すれば、この問題が解決し、経済・生活面で日常が戻ってくるとともに、食料も増産できるので、SDGs に取組む大手企業と共に、JICA 等を通じて、世界展開を検討している。</li> <li>・ 水草からセラミックのみを抽出する方法も確立したので、来年度は、連続的にセラミックを抽出し、ガラス工芸だけでなく、紙、バイオプラなどに利用していく。</li> <li>・ 抽出したセラミックは微細なポーラスが多く、脱臭、調湿、農業等で利用可能である。</li> </ul>		
備考			